

■平成30年度 みんなが輝く地域づくりフォーラム！
～11月10日（土）、にぎやかに開催されました～
たくさんの方のご協力、ご参加をありがとうございました。



170名の方々が集まってくださいました。

『みんなの学校』の映画は、ひとりひとりの子どもの思い 成長をみんなで見守り寄り添い、一緒に考えたり 子ども自身が思いを伝えられるように関わっている日常を見ることができ、とても学ぶことが多かったです。すごく感動し涙が出ました。」

「山本シュウさんの講演会は面白く 分かりやすかったです。自分自身の改革が必要だと感じました。」

「どこの事業者さんのパン・お弁当もおいしかったです。」また、初めての試みでもある学校の展示・子どもによる販売では「小中学生の頑張る姿を見ることが出来ました。」等々、嬉しい感想をたくさんいただきました。



準備や当日のお手伝い等、協議会の皆さんのお力で今後の私たちの活力となるフォーラムが開催できました。
本当にありがとうございました。

■諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 研修会 11月16日に開催しました
講演会 ドラえもんをサポートカに学ぼう～きみがやりたかったのはこれだね～
サビ管・児発管・相談員の合同研修会（相談支援部会人材育成W）

午前中の橋詰正氏の講演会は87名が参加。
ドラえもんの話が散りばめられ、障がい当事者の意思決定支援を支えるために私たちができることという視点から、様々な考え方を学びました。「目からウロコでした」という感想を多数いただきました。





午後の合同研修会では、サビ管・児発管・相談員が24名集まり 事前課題の事例をグループごとに検討し、解決のためのアイデアを出し合いました。「権利擁護」「意思決定支援」をキーワードに、深いのある検討を行った有意義な研修会でした。

■ 11月の自立支援協議会報告

権利擁護部会 22日(木)

- ・事例検討会。今年度事業の確認と報告。

権利擁護部会 視察研修 27日(火)

- ・長野刑務所の視察研修。

療育支援部会 27日(火)

- ・受給者が利用できる範囲のアウトラインの検討。新事業所の紹介「Living Plus One」。

地域生活支援部会 30日(金)

- ・GHサビ管連絡会・世話人連絡会の報告と今後の運営について検討。
- ・火災時における現状の課題の把握と通勤・通所における移動の課題の解決に向けて協議。

■ 研修会・研究会・イベント 21 情報 (詳しい内容は各団体、またはオアシスまで)

♣ ザワメキアート展 2018

障がいのある人が表現した作品に向き合ったとき
どこか心がザワザワとし不思議な感覚を覚えるものがある
忘れていた 眠っていた 自分の感覚のどこかが
くすぐられたり 揺さぶられたり・・・
そんな作品を展示します。

入場無料

会場：ホクト文化ホール 2018.12.7(金) - 12.20(木)

会場：長野県伊那文化会館 2019.1.10(木) - 1.22(火)

会場：銀座 NAGANO 2019.2.21(木) - 2.23(土)

問合せ：信州ザワメキアート展 2018 実行委員会事務局
(長野県障がい者福祉センター「サンアップル」内)
長野市下駒沢 586 担当 吉澤・持田
Tel 026-295-3441 Fax 026-295-3511



♣ 成年後見制度利用促進・権利擁護推進セミナー

2月8日(金) 13:00 ~ 16:30

内容：基調講演「成年後見制度利用促進と高齢者・障がい者の権利擁護

～司法と福祉の連携と行政機関、相談機関、福祉事業所等の役割～」

講師 田村 満子 氏

たむらソーシャルネット代表 社会福祉士

：シンポジウム

テーマ「高齢者・障がい者の権利擁護と地域連携ネットワーク」

会場：松本市浅間温泉文化センター 大会議室（松本市浅間温泉 2-6-1）

Tel 0263-46-2654

対象：福祉施設、福祉事業所、病院、行政・福祉事務所、地域包括支援センター、障害者総合支援センター、社会福祉協議会、社会福祉法人・NPO法人、成年後見支援センター 等職員

弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、その他、民生児童委員、ボランティア、学生等、関心ある人どなたでも

定員：250人

参加費：無料

申込み：1/31（木）まで 申込書をメールまたはFaxで送信

Fax：026（266）0339 E-Mail：info@nacsw.jp

問合せ：長野県社会福祉士会事務局 Tel 026（266）0294

♣ 第8回 信州子どものこころ診療研究会

「気になることもと初めて向き合う時」をテーマに症例検討や講演などを行います。

12月22日（土） 13：00～16：00

場所：信州大学 旭研究棟 9階講義室（松本市旭 3-1-1）

参加費：1,000円

内容：第1部 13：05～14：25 症例検討

演題 「暴力的講堂、性的行動への対応に苦慮する8歳男児例」

演者 上田 宗胤 先生（国立病院機構まつもと医療センター小児科）

スーパーバイザー 井上 勝夫 先生（北里大学医学部精神科学 講師
相模原市寄附講座 地域児童精神科医療学 特任講師）

座長 西村 貴文 先生（国立病院機構まつもと医療センター小児科医長）

第2部 14：40～16：00 特別講演

演題 「子どもとの初回面接を意味あるものにするために」

講師 井上 勝夫 先生（北里大学医学部精神科学 講師

相模原市寄附講座 地域児童精神科医療学 特任講師）

座長 西村 貴文 先生（国立病院機構まつもと医療センター小児科医長）

問合せ：長野県立こころの医療センター駒ヶ根

Tel 0265-83-3381 担当：児童精神科 山田

♣ 差別解消法と合理的配慮に関する学習会

自閉症スペクトラム等の障害がある当事者の真城 源哲氏に自身の体験を通じた権利擁護や意思決定支援のあり方についての講演をしていただき、差別とは 合理的配慮とは何か 考える機会とすることを目的として開催するものです。

12月14日（金） 13：30～16：00

会 場：なんなんひろば 松南地区公民館 大会議室（松本市芳野 4 番 1 号）

内 容：講演「権利擁護と意思決定支援 ～当事者の体験を通じて見えた景色～」

講師 真城 源哲 氏

対象者：障がい福祉サービス事業者、障がい者総合相談支援センター、行政機関、特別支援学校 等

申込み・問合せ：11 月 30 日まで（申込みが無い方も当日参加可能です。）

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 事務局 担当 吉澤

Tel 0263-78-7203 Fax 0263-78-7204

♣ 長野県おでかけ手話講座 ～ 手話講師を派遣します ～



「おでかけ手話講座」は、お店やレストラン、宿泊や観光などの場面でのちょっとした会話の手話を学びたい、近所や学校でろう者と交流してろう者のことをもっと知りたい、といった希望に応じて、会社や団体、グループの活動場所へ手話講師が出向きます。

申込みのための条件

- ① 県内の企業、団体、グループ
- ② 参加者が 10 名以上集まること
- ③ 回数は基本的に 1 回であること
- ④ 時間は おおよそ 1 時間以内であること
- ⑤ 会場の準備ができること
- ⑥ 手話講座の写真撮影に協力いただけること

（撮影した写真は長野県の広報に使用させていただきます。）

①～⑥の条件をすべて満たしていること。（条件を満たさない場合でもご相談に応じます。ぜひ お問い合わせください。）

費用

手話講師・手話通訳者の派遣に必要な謝礼や交通費は無料です。

ただし教材が必要となる場合は、実費の負担をお願いします。

申込み・問合せ

希望する日の 1 ヶ月以上前まで（申込みが予算の上限に達し次第、受付は終了となります。御了承ください。）

長野県障がい者福祉センター内 社会福祉法人 長野県聴覚障害者協会

Tel 026-295-3612 Fax 026-295-3610

オーダーメイドできる手話講座

おもてなし手話講座

レストラン・食堂編	ホテル・旅館編	お店・コンビニ編	救急・病院編	“ろう者”の世界をのぞいてみよう
<p>「いらっしゃいませ」 「注文は決まりましたか？」 「お待ちください」など</p> <p>レストラン・食堂で使う手話や、聴覚障害者にやさしいサービスとは？についてのお話もできます。</p>	<p>「朝食は7時からです」 「駐車場は使用しますか？」 「エレベーターはあちらです」など</p> <p>ホテル・旅館で使う手話や、聴覚障害者が求めるサービスとは？についてのお話もできます。</p>	<p>「袋は必要ですか？」 「温めますか？」 「カードはお持ちですか？」など</p> <p>お店やコンビニで使う手話や、聴覚障害者とのコミュニケーションについてのお話もできます。</p>	<p>「具合が悪いですか？」 「どこが痛みますか？」 「救急車呼びますか？」など</p> <p>具合が悪いときは誰でも不安になるものです。そんなときに少しでも手話がわかると、安心です。</p>	<p>きこえないことは大変？でも実は・・・ ろう者の話を聞いて「きこえないこと」について知り、きこえる人もきこえない人もともに支えあう社会をめざしましょう。</p>

♣ オアシス クリスマス会のお知らせ (富士見町・原村交流事業)

富士見町・原村在住の方に ご参加いただけます。

12月15日(土) 13:30~16:00頃

内容：クリスマスケーキを作ろう！

ゲームを楽しもう！ プレゼントもあります

会場：原村地域福祉センター 多目的ホール

参加費：700円

募集人数：20名程度

申込み：12/10(月)まで お住いの役場にお申込み下さい

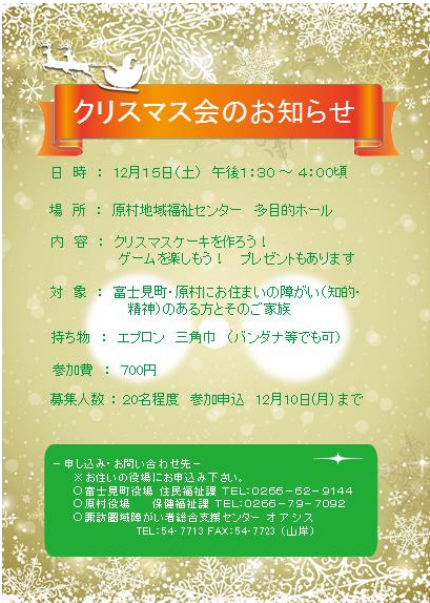
富士見町役場 住民福祉課 Tel 62-9144

原村役場 保健福祉課 Tel 79-7092

問合せ：諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス

担当 山岸 Tel 54-7713

Fax 54-7723



クリスマス会のお知らせ

日時：12月15日(土) 午後1:30～4:00頃

場所：原村地域福祉センター 多目的ホール

内容：クリスマスケーキを作ろう！
ゲームを楽しもう！ プレゼントもあります

対象：富士見町・原村にお住まいの障がい(知的・精神)のある方とそのご家族

持ち物：エプロン 三角巾 (ハンダナ等でも可)

参加費：700円

募集人数：20名程度 参加申込 12月10日(月)まで

※申し込み・お問い合わせ先
※お住いの役場にお申込み下さい。
○富士見町役場 住民福祉課 TEL:0266-62-9144
○原村役場 保健福祉課 TEL:0266-79-7092
○諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス
TEL:54-7713 FAX:54-7723 (山岸)

■リレーずいそう 第66回

【富士見町役場 新井 裕子さん】

皆さん、こんにちは。富士見町役場 社会福祉係の新井です。

今回、「リレーずいそう」のお話を頂いた時は、「え…(^_^;)」と一瞬、固まってしまいましたが、諏訪市の茅野係長さんからのバトンでもあるし、思えば福祉に来て6年目となっていたなあ…なんて思うと、これを機会にこれまでお世話になった皆様への感謝も込めて書ければ…と感じ、拙文ではありますが寄稿させていただきます。

福祉に来て6年目と書きましたが、保健師という仕事をさせていただくようになってからは、20年という月日が経ってしまいました。(自分でもこの数字にびっくり((+_+))

保健師の働く現場は、子供の健診などの母子保健・子ども分野から、大人の健診・保健指導などの健康づくり分野、介護保険などの高齢者分野、そして障害福祉や地域福祉を中心とした福祉分野など、とても様々です。以前に「保健師は何でも屋よ。」なんて表現した先輩もいました。

ただ、働く現場は様々でも、いつも仕事の中心にあるのは「相談」という業務です。また人の人生に深くかかわる仕事であるのかなと思います。

これまでに、人に言えない悩みや困りごとを相談して下さった方々に、自分がどれだけ応えられたのかな…と思うと、逆に傷つけてしまった方もいるかな…と反省する事ばかりです。それでも、これまで続けてこれたのは、今までに私と一緒に仕事をしてくださった周囲の方々から頂いた「言葉」のおかげだと思います。

今回は、悩んだ時に支えとなってくれた「言葉」のいくつかをご紹介します(もしかしたら、これを読んでくださる方の中に、「これ、私の言葉かも…」とお気づきになる方もいるかもしれません。)

*保健師として働き出して1年目。

もう延命治療や入院治療は望まないと言って、在宅で最期を迎えたお年寄りを看取った時。ご家族から連絡をもらって、ご自宅に訪問をしたものの、病院に行く意向はなく、診療所の先生の往診は間に合わず…で、亡くなられてしまいました。

保健師1年目であった私にはとてもショックな出来事で、何もできなかったという気持ちに押し潰されそうでした。そんな時に診療所のベテランの看護師さんに、

「何もできなかったかもしれないけど、一緒にいてあげるだけでいいんだよ。ご家族は、これ以上のことはしないと決めていたんだろうけど、それでもやっぱり不安だったんだね。」という言葉いただきました。

「何かしなければ」という思いが強かった私に「不安に寄り添う」ことの意味を教えてくれた言葉でした。

*学校に行けず、ご自宅にひきこもっている十代後半の男の子。背景に家庭環境の複雑さに加え、知的または精神面での何かがありそうな方で、人を求めて、保健センターに来てはお話をしていく方でした。どこかに働く場所はないか、働くことはできないかと模索していた時に、保健所の先輩保健師さんから頂いた言葉。

「世の中には、いわゆる『働く』ことが必ずしもベストじゃない人もいるんだよ。色々な働き方と過ごし方があるって、この人にとって、安心して過ごせる場所がまず見つければいいね。」まだ若いし、働かなきゃという思いが先行してしまっていることに気づかされる言葉でした。村の人の、「あのひとは、まだ若いのにフラフラして…」という言葉に自分も乗ってしまっていることに気づき、その方に合った支援について考え直すきっかけをもらった言葉でした。

*保健センターで母子保健分野を担当させていただいていた時。

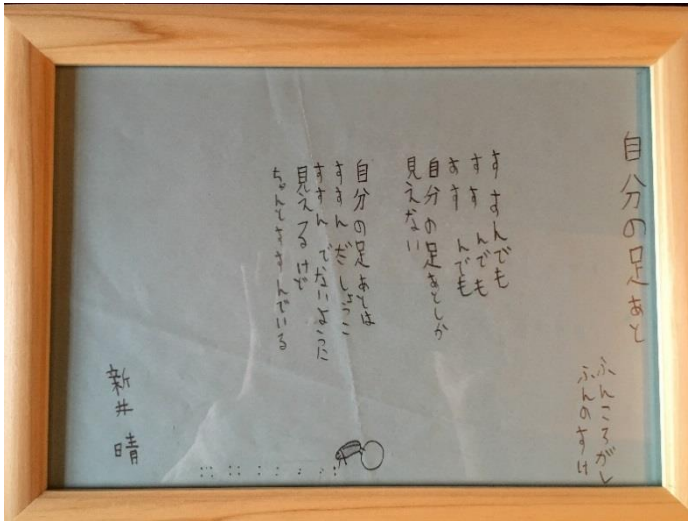
健診・育児相談で気になる面のあるお子様について、お母さんとの相談がうまく進まず、悩んでいた時に、一緒にお仕事させていただいていた心理士さんの一言。

「相談にもね、『匂』があるんだよ。きっとお母さんにとっては、今はまだ、相談の匂じゃないんだね。」

こちら側の「気になる」を押し付けてしまっているのかなと気づかされる言葉でした。

この言葉は、その後、色々な場面でいつも私の頭の中をよぎる言葉となりました。匂をつかんだ時は、とても早く順調に事が進むけれども、匂をつかみ間違えたり、匂でないのにつついてしまうと、傷をつけてしまったり倍の時間を要してしまったりするように感じています。相談したいと思っているのかそうでないのか、今お話ししたいと思っていることは何なのかと考えながらお話を聴くことの大切さを教えてくれる言葉となりました。

こんな風に見える今でも、自分がきちんと相談に答えられているのか、自信はありませんが、これまで仕事してきた中で私の中で支えとなっている言葉として、ご紹介させていただきました。また、このような言葉を私に伝えてくださった周囲の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



最後にもう1つ、親バカですが、次男坊が何気なく学校で書いた詩を載せちゃいます。カバンの中で無造作にクシャクシャとなっていたのを見つけたのですが、今は額に入れて、いつも見える所に飾っています。

(字が汚いのはご愛嬌(*´ω`*))
 なんだかわからないけど、「明日もがんばろ♪」と思わせてくれるこの詩と絵とペンネームが大好きです。

(次回は、茅野市役所 上田さんにバトンをお渡しします。よろしくお願ひします。)

■12月の日程(自立支援協議会、オアシス)

- 12月1日(土) 13:30~ 療育部会スキルアップ研修
- 4日(火) 13:30~ 相談支援部会
- 10日(月) 12:00~ 発達障がいデイケア
- 11日(火) 13:30~ 就労支援部会

■オアシスたいむ 59 『元気回復※』

先日、職場の福利厚生事業で戸隠に行ってきました。

奥社参道から随神門を通り杉並木へ。
 樹齢400年を超えた巨樹にあいさつをしながら 遥かな歴史に思いを馳せて戸隠古道を歩いて来ました。

奥社に続く最後の登りの階段は きつつううう... かったですが
 奥社で参拝し休憩するころには☀空から☀が顔を出してくれました。

大自然に抱かれ 参道を自分の足で歩き、樹齢数百年の杉に触れ、大きく深く呼吸することで人間性を回復する想いの1日となりました。

今年も、1年のまとめの時期になりましたね。
 前を見ながら足元みつめて、1日1日を大切にしていきたいです。

1年間たいへんお世話になり、ありがとうございました。よいお年を、お迎えください。

